

ニュース 玉手箱



地域おこし協力隊活動報告会

地 域おこし協力隊の活動報告会が3月12日（火）に虹のプラザ中会議室で開催され、香坂明さんと遠藤舞子さんの2人が来場者80人に向けて今年度の取り組みを報告しました。

2人は着任2年目のテーマを、地域間の交流や人とのつながりを作ることとしていて、友好交流協定を結ぶ宮城県涌谷町の協力隊との共催による「わくやキッチン」や活動拠点KOEnoKURAで開催したイベント、東京都で開かれた移住希望者向けのセミナーへの参加などの取り組みを紹介しました。さらに、北村山地域で活動する協力隊を招いたトークショーもあり、来場者も交えて、活発なやり取りが交わされていました。



町内のとんとむがす集めた本が完成

大 石田とんとむがすの会（海藤三重子会長）が町内に伝わる民話や伝説などをまとめた「大石田のとんとむがす」が完成し、3月5日（火）に町内小中学校の校長先生に手渡されました。

これは、小中学校や町内会などで昔語りの活動を行っている同会が、結成10周年を記念して作成したもので、会員らが丸2年かけて町内のお年寄りなどから聞いたり、資料を収集するなどして集めた話をまとめ、挿絵や写真も町内の方の協力による手作りの民話集です。町内でも異なる方言の表現などにこだわったもので、約50篇が収められています。本は各小中学校のほか町立図書館にも所蔵されています。



人が集う場づくりの手法学ぶ

静 岡県富士吉田市の元地域おこし協力隊員で、移住者支援や市内外から人が集うイベントの企画などを行う赤松智志さんによるトークイベントが3月7日（木）にKOEnoKURAで開催されました。

これは、昨年から行われている協力隊の自主企画「KOEnoLAB」の第5弾として行われたもので、赤松さんは町内外から参加した20人に向けて、富士吉田市で取り組んできた空き家再生プロジェクトなどの経験から、人が集う場所やイベントづくりのポイントを紹介しました。

講演のあとには参加者同士の交流会があり、互いの活動を紹介し合ったり、課題解決のヒントを得ようと積極的な交流が行われました。



7名の選手にスポーツ激励金を交付



スポーツ大会出場激励金交付式が12月25日（火）に役場町長室で行われました。これは、全国大会や東北大会等に出場される方を激励するために交付されるものです。今回激励金が交付されたのは次の皆さんです。

黒沼暉生さん（大石田中3年）
井上斗彩さん（大石田中3年）
遠藤大騎さん（大石田中2年）
八鍬修平さん（大石田中2年）
遠藤太胡さん（大石田中2年）
松沢虹大さん（新庄信用金庫・川端）
齋藤元希さん（筑波技術大学2年）

火事なく安全な町に



消防団出初式が3月3日（日）に四日町から本町までの通りを会場に行われました。消防団員約150名と消防ポンプ自動車など18台が参加し、一斉放水や三浦清孝団長を先頭にした統率のとれた分列行進などで士気の高さを披露していました。

春は空気が乾燥して火事が起こりやすくなります。火の始末には十分注意しましょう。

伊藤憲さんに日本スポーツ協会会長表彰



このたび、伊藤憲さん（東町）が日本スポーツ協会会長表彰を受けました。これは伊藤さんが長年にわたりソフトボール指導員として公式記録員の養成などに尽力し、地域のスポーツ振興に貢献された業績が認められたものです。大変おめでとうございます。

短歌



俳句

滑り台孫手作りや春の雪
老ひの春振向き思ふ若き春
葉書来て出欠を問ふ春嵐
浅き春舟小屋守る妻召され
制服や採寸終へて入学児
落味噌のかほり充滿厨かな
一羽だけ群れを離れて鳥帰る
余寒かな老母へばり伏す階段に

梅三個茂吉の描きし絵皿には羊かん盛りて朝茶の旨し
夜起きて夫への短歌詠んでいる胸がときめくバレンタインデー
鉢植系の紫式部のまろき実を交互に啄む二羽のひよどり
ぐるぐるとゆらゆらとなる採血の後の肺機能検査にへばる
米ないと爺にあまえて孫の来るヨイシヨツと半後可愛い孫に
東京に茂吉を講演するえにし「白き山」後記に父の名ありて（三月三十日）
歎異抄読み解きくれし欣三さん笑顔遺して身罷りにけり
龍りて妻との会話も途切れがち心愛ちゃん虚待のテレビは悲し
暗誦をするまで推敲重ねたる原稿が遂に書籍となりぬ

青木 宙翁
青木 ミサ女
五十嵐 隆司
柏倉 ヤス子
木村 満喜子
齊藤 静子
土屋 忠子
星川 紀一郎
八 鍬 キクヨ
鈴木 智恵美
鈴木 多喜子
小玉 春歌
佐々木 昭治
富 樫 崇太郎
杜 匠 一
伊藤 哲夫
海藤 忠男